

令和8年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	国際ITビジネス科			教科名	ITリテラシー		
コース名	国際ITビジネスコース			担当者	山田ノ		
学 年	1年			教科番号	1101	単位数	4.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・ 実技	必修・選択の別		必修	
	○						
授業概要	留学生が日本のITを学習するための入門書を主な教科書として、ITに関する用語や仕組み、活用法を日本語で理解することを中心に学び、日本でITを活用した業務を行うために必要な基礎知識を身に付ける。						
到達目標	<p>日本におけるITの基礎を学び、将来、職場や上級学校で学ぶための基礎的な知識を身に付けるため、次のことを目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ハードウェアやソフトウェアの関連用語やその仕組みを日本語で理解する。 2 ネットワークやマルチメディア、データベース、セキュリティなどの利用技術の概要を日本語で理解する。 3 日本における企業や法務、マネジメントなどの概要を理解する。 						
教材名	留学生のためのITリテラシー（インフォテックサーブ）						
資格の 取得目標	なし						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性							
履修に あたっての 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ あらかじめ、次の授業で学習する教科書の単元を読んでおくこと。 ・ 授業中わからない日本語があったときは、教員に適宜質問するとともに、授業後に必ず復習すること。 ・ 携帯電話等、不必要なものはカバンにしまうこと。 ・ 授業での分からない言葉単語・日本語は教員に適宜質問すること。 ・ 評価は、毎時間の授業ノートやプリント等の提出状況、授業での発表や参加状況、出席状況、学期末試験の点数を総合して行う。 						
評価基準		②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計	
割合	30%	0%	30%	40%	0%	100%	

回数	講義内容
1	ハードウェアとソフトウェア (1)コンピュータの種類 コンピュータの種類や特徴について理解する
2	ハードウェアとソフトウェア (2)コンピュータの基本構成 コンピュータの五大装置ならびに周辺装置などの基本構成を理解する
3	ハードウェアとソフトウェア (3)プロセッサとメモリ プロセッサの仕組み, メモリ分類と特徴, 補助記憶装置の概要を理解する。
4	ハードウェアとソフトウェア (4)ソフトウェアの利用 システムソフトウェアや応用ソフトウェアの概要, ソフトウェアライセンスを理解する。
5	データベース (1) データベースの構築 データベースの役割, 種類と特徴の概要を理解する。
6	データベース (2)データベース管理システム データベース管理システムの機能, リレーショナル型データベースの操作の概要を理解する。
7	ネットワーク (1)ネットワークの基本構成 ネットワークの概要, 代表的な通信機器, プロトコルの概要を理解する。
8	ネットワーク (2)インターネット技術 代表的な通信サービスやインターネットで提供されるサービスの概要を理解する。

回数	講義内容
9	セキュリティ (1) 情報セキュリティの概要 情報セキュリティの必要性と、セキュリティマネジメントの概要を理解する。
10	セキュリティ (2) 情報セキュリティ対策 人的セキュリティ対策, 技術的セキュリティ対策, 物理的セキュリティ対策の概要を理解する。
11	セキュリティ (3) 暗号技術 暗号技術の必要性と代表的な暗号方式の概要を理解する。
12	セキュリティ (4) 認証技術 認証技術の必要性と実際に用いられている認証技術の概要を理解する。
13	情報システム (1) システムの構成 情報システムとは何かを理解するとともに, 処理解体によるシステムの分類を理解する。
14	情報システム (2) システムの評価指標 システムの性能を評価する指標について, その概要を理解する。
15	マルチメディアとヒューマンインタフェース (1) マルチメディアとは マルチメディアの概要並びに, 画像, 映像, 音声, 文書の代表的なファイル形式を理解する。
16	マルチメディアとヒューマンインタフェース (2) マルチメディア技術 マルチメディアにおける画像や映像, 音の表現方法やデータの圧縮・伸長などのマルチメディア技術の概要を理解する。

回数	講義内容
17	<p>マルチメディアとヒューマンインタフェース (2)ヒューマンインタフェース ヒューマンインタフェースの概要並びに、GUI、ユニバーサルデザインの概要を理解する。</p>
18	<p>プロジェクトマネジメント (1)システム開発技術 システム開発のプロセス並びに開発モデルの概要を理解する。</p>
19	<p>プロジェクトマネジメント (2)データ構造 データ構造の概要として、変数、配列、リスト、木構造、キュー、スタックの概要を理解する。</p>
20	<p>プロジェクトマネジメント (3)アルゴリズム アルゴリズムの概要として、基本構造並びに基本的なアルゴリズムを理解する。</p>
21	<p>プロジェクトマネジメント (3)プログラミング プログラミングの手順、代表的なプログラミング言語、プログラミングテストの概要を理解する。</p>
22	<p>プロジェクトマネジメント (4)プロジェクトマネジメント プロジェクトとは何かを理解するとともに、プロジェクトマネジメントのプロセスを理解する。</p>
23	<p>サービスマネジメント (1)サービスマネジメント ITサービスマネジメントの概要、ならびにその概要を理解する。</p>
24	<p>サービスマネジメント (2)システム監査と内部統制 監査の役割ならびにシステム監査基準、内部統制の概要を理解する。</p>

回数	講義内容
25	<p>企業と法務 (1)企業活動と組織形態 日本の企業における企業活動と組織形態の概要を理解する。</p>
26	<p>企業と法務 (2)業務把握と業務改善 業務分析や業務改善, 問題解決の代表的な手法を理解する。</p>
27	<p>企業と法務 (1)企業会計 企業会計の概要, ならびに企業会計における財務会計と管理会計の概要を理解する。</p>
28	<p>企業と法務 (2)企業法務 日本の企業の法務のうち, 知的財産権や情報セキュリティ, 労働関連, 取引などに関連する法務の概要を理解する。</p>
29	<p>経営戦略 (1)経営戦略マネジメント 経営戦略マネジメントの意義と代表的な手法の概要を理解する。</p>
30	<p>経営戦略 (2)技術戦略マネジメント 技術戦略マネジメントの意義と, 代表的な先端技術やビジネスシステムの概要を理解する。</p>
31	<p>システム戦略 (1)情報システム戦略 情報システム戦略の意義とその概要を理解する。</p>
32	<p>システム戦略 (2)システム企画 システム企画とそのプロセスの概要を理解する。</p>

令和 8 年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	国際ITビジネス科			教科名	ビジネス概論	
コース名	国際ITビジネスコース			担当者	久保田	
学 年	1年			教科番号	1102	単位数 4.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・ 実技	必修・選択の別	必修	
	○					
授業概要	日本の企業で日本人と働くために必要なビジネス知識や技術を基礎的なことから学習する。発展的な知識や考察をもって、自分の能力・スキルを最大限に発揮し、日本企業に貢献できる人材を育てる。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・難しい漢字やビジネス用語について読んで理解することができる。 ・職業人としてのマインドを養うとともに、日本人の考え方やビジネス社会の特徴、ビジネスマナーを身に付けることができる。 ・日本人と円滑なコミュニケーションを取りながら仕事ができる。 ・社会人としてのマナー（会社のルール、身だしなみ、挨拶の仕方、言葉遣いなど）がしっかりと身に付けることができる。 					
教材名	グローバル人材ビジネス実務検定 接遇編 公式テキスト グローバル人材ビジネス実務検定 日常生活編					
資格の 取得目標	グローバル人材ビジネス実務検定 3級(任意)					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性						
履修に あたっての 留意点	<ol style="list-style-type: none"> ①各テーマについて、自国の場合はどうか、あるいは自分はどのように考えるかを発表出来るようにする。 ②積極的な発言・ワークなどにおける協働を行うこと。（質問、考えを述べる等） ③授業中はスマホ、イヤホン、ヘッドホンの使用は禁止する。（鞆にしまう等） ④前期のまとめと理解度を確認するために、学期末試験を行う。 					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割合	20%	10%	30%	40%	0%	100%

回数	講義内容
1	<ul style="list-style-type: none"> ・授業オリエンテーション 授業の進め方、教科書の使い方 評価基準について 自己紹介 など
2	<p>第1章 接遇の基本項目</p> <p>Lesson1 第一印象</p> <p>第一印象を良くすると、お客様の満足度が高まる</p> <p>ふりかえり問題</p>
3	<p>第1章 接遇の基本項目</p> <p>Lesson2 身だしなみ1 清潔感の仕事力</p> <p>身だしなみ2 " (男性の身だしなみ)</p> <p>ふりかえり問題</p>
4	<p>第1章 接遇の基本項目</p> <p>Lesson3 表情</p> <p>心からの歓迎と感謝の気持ちを届けるには</p> <p>大好きな人に久しぶりに会った時の笑顔で</p> <p>ふりかえり問題</p>
5	<p>第1章 接遇の基本項目</p> <p>Lesson4 目線</p> <p>目は心の窓</p> <p>ふりかえり問題</p>
6	<p>第1章 接遇の基本項目</p> <p>Lesson5 あいさつ・おじぎ</p> <p>あいさつはコミュニケーションのはじまり</p> <p>ふりかえり問題</p>
7	<p>第1章 接遇の基本項目</p> <p>Lesson6 姿勢</p> <p>美しい姿勢は、信頼感をにじませる</p> <p>追い越さない、横切らない 他</p> <p>ふりかえり練習問題</p>
8	<p>第2章 コミュニケーション</p> <p>Lesson1 話し方と聴き方</p> <p>話し上手は、話し方上手、聞き上手は、聴き方上手</p> <p>ふりかえり問題</p>

回数	講義内容
9	第2章 コミュニケーション Lesson2 接遇の言葉づかい 接遇基本用語 クッション言葉 ふりかえり問題
10	第2章 コミュニケーション Lesson3 プラスアルファの言葉がけ 「もう一言」がお客様との距離をちぢめる ふりかえり問題
11	第2章 コミュニケーション Lesson4 空間管理 コミュニケーションを取るときの位置関係は大事 話し方と聴き方の心理に大きな影響がある ふりかえり問題
12	第2章 コミュニケーション Lesson5 お客様の心理の理解 お客様の心を思いやり、「お客様のために何ができるか」を考える ふりかえり問題
13	第2章 コミュニケーション Lesson6 接客英語 友だちと話すような英語は使わない、丁寧な会話で笑顔で対応 接客英語の質問文(May I・・・?など) おわび、お断り、買い物、レストラン、ホテルなど ふりかえり練習問題
14	第3章 敬語 Lesson1 敬語の用法(いつ、誰に、どこで、どのように) Lesson2 敬語の種類 ふりかえり問題
15	第3章 敬語 Lesson3 尊敬語(相手を高めて直接的に敬意を表す) 一般形と特定形、簡単な尊敬語 Lesson4 謙譲語(自分を低めて間接的に敬意を表す) 語尾が変化する文型、元の形とは別の形になる文型 ふりかえり問題
16	第3章 敬語 Lesson5 丁寧語 美化語＝「お+和語」や「御+漢語」 Lesson6 ウチとソト 「ソト」の人とは、お客様、社外の人 「ソト」の人に「ウチ」の人のことを話すときには、尊敬語を使わない

回数	講義内容
17	第3章 敬語 Lesson7 間違えやすい敬語 話し上手は話し方上手、聴き上手は聴き方上手 ふりかえり問題
18	第3章 敬語 Lesson8 クッション言葉 言いにくいことを伝える時は、丁寧な態度と敬語が必要 ふりかえり問題
19	第3章 敬語 Lesson9 助詞の使い方 「で」の使い方、「に」の使い方、「を」の使い方 ふりかえり問題
20	第3章 敬語 Lesson10 会話の方法 時と場所、相手によって話し方を決める 「敬語」会話、「ですます」会話、「友だち」会話の3つがある ふりかえり練習問題
21	第4章 社会人としての心構え Lesson1 企業人に必要な要素 「企業は人なり」と言い、会社には4つの「じんざい」がいる 「人財」「人材」「人在」「人罪」 ふりかえり問題
22	第4章 社会人としての心構え Lesson2 職場のルールとマナー 「欠勤、遅刻、早退」のときはどうする ふりかえり問題
23	第4章 社会人としての心構え Lesson3 企業内コミュニケーション 上司や同僚とのコミュニケーションのとり方 業務指示の受け方、報告・連絡・相談、そのポイント ふりかえり問題
24	第4章 社会人としての心構え Lesson4 環境整備(5S) 整理、整頓、清掃、清潔、しつけ 気持ちいい環境のつくり方、化粧室の使い方 ふりかえり問題

回数	講義内容
25	第4章 社会人としての心構え Lesson5 ストレス対処 対処方法(適度なよいストレスは自分を成長させる) セルフトーク(後ろ向きな言葉をプラスに変える方法) ふりかえり問題
26	第4章 社会人としての心構え 章のまとめ、復習 ふりかえり練習問題
27	第5章 ビジネスマナー Lesson1 ビジネスマナーの意義 ビジネスマナーとは、仕事をするうえで必要な常識や知識 ふりかえり問題
28	第5章 ビジネスマナー Lesson2 来客対応 お出迎え、ご案内、プラスアルファの言葉がけ エレベーター、応接室のドアの開閉、お見送り、お茶出し、 ふりかえり問題
29	第5章 ビジネスマナー Lesson3 席次 応接室や会議室、車などの席には、上座と下座がある ふりかえり問題
30	第5章 ビジネスマナー Lesson4 電話対応 受け方、とりつぎ方、社員が不在のとき、終わりのあいさつ、切り方、伝言メモ ふりかえり問題
31	第5章 ビジネスマナー Lesson5 名刺の受け取り方・さし出し方、名刺の同時交換 Lesson6 ビジネスメール、こんな具合に ふりかえり問題
32	第5章 ビジネスマナー 章のまとめ ふりかえり練習問題 前期の復習(1～5章)

令和 8 年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	国際ITビジネス科			教科名	サービス接遇	
コース名	国際ITビジネスコース			担当者	久保田	
学 年	1年			教科番号	1103	単位数 4.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・ 実技	必修・選択の別	必修	
		○				
授業概要	日本のビジネスシーンで必要とされる接遇マナー、基本的なコミュニケーションなどの基本スキルを演習を交えながら学習する。					
到達目標	<p>①お客さまへの対応の仕方、所作についてやサービスに対する基本的概念などの基礎知識を習得できる。</p> <p>②サービススタッフとして必要な資質、サービスの専門知識、社会的な一般常識などの知識を身に付けることができる。</p> <p>③サービス業ならではの接遇用語や、クレームや問題などに対処できるように顧客心理を理解した人間関係の対処方法を身に付けることができる。</p>					
教材名	グローバル人材ビジネス実務検定 接遇編 公式テキスト グローバル人材ビジネス実務検定 日常生活編					
資格の 取得目標	グローバル人材ビジネス実務検定 3級(任意)					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性						
履修に あたっての 留意点	<p>①各テーマについて、自国の場合はどうか、あるいは自分はどのように考えるかを発表出来るようにする。</p> <p>②積極的な発言・ワークなどにおける協働を行うこと。（質問、考えを述べる等）</p> <p>③授業中はスマホ、イヤホン、ヘッドホンの使用は禁止する。（鞆にしまう等）</p> <p>④学期のまとめと理解度を確認するために、学期末試験を行う。</p>					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割合	20%	10%	30%	40%	0%	100%

回数	講義内容
1	第6章 クレーム対応 Lesson1 クレーム発生のお客さま心理 お客さまの9つの心理 スタッフサービスが原因の不満は4つの「不」から 「不知」、「不便」、「不快」、「不安」 ふりかえり問題
2	第6章 クレーム対応 Lesson2 グッドマンの法則 グッドマンの法則、クレームの意味 クレームは対価に見合うサービスではない正当な訴え、クレームはOpportunityである ふりかえり問題
3	第6章 クレーム対応 Lesson3 基本の流れ 速やかにお詫び、丁寧に謝罪する 傾聴と共感、解決策の提示、感謝、情報共有とフォロー ふりかえり問題
4	第6章 クレーム対応 Lesson4 傾聴と共感 クレーム対応の基本、傾聴 共感の示し方、クレーム対応のマジックフレーズ ふりかえり問題
5	第6章 クレーム対応 章のまとめ ふりかえり練習問題
6	第7章 異文化適応力 Lesson1 知・異文化3つのステップ Lesson2 言語、非言語コミュニケーション ふりかえり問題
7	第7章 異文化適応力 Lesson3 異文化コミュニケーション ハイコンテクスト文化とは、ローコンテクスト文化とは Lesson4 日本のコミュニケーションの特徴 ふりかえり問題
8	第7章 異文化適応力 Lesson5 日本人が大切にしていることや考え 日本人が大切に思っていること、理解してほしいと思う文化 Lesson6 和の精神 ふりかえり問題

回数	講義内容
9	第7章 異文化適応力 Lesson7 言葉づかいは心づかい いつも相手を思いやる言葉を使うと、良い人間関係ができる Lesson8 日本のおもてなし(一期一会) ふりかえり問題
10	第7章 異文化適応力 Lesson9 日本の贈り物のマナー 贈答ニーズにお応えするための基本ルール Lesson10 冠婚葬祭とは ふりかえり問題
11	第7章 異文化適応力 Lesson11 各国のあいさつ こんにちは、さようなら、ありがとう Lesson12 各国の文化・風習・タブー、イスラム教、食のタブー ふりかえり問題
12	第7章 異文化適応力 Lesson13 ジェスチャー 国際交流をするときは、言語が難しいのでジェスチャーやボディランゲージも使う 章のまとめ ふりかえり練習問題
13	第8章 食事のマナー Lesson1 食事のマナー どんな料理でも共通のマナーがある ふりかえり問題
14	第8章 食事のマナー Lesson2 和食のマナー 和食のマナー(本膳料理、懐石料理、会席料理、、精進料理) 箸の使い方、箸使いのタブー ふりかえり問題
15	第8章 食事のマナー Lesson3 洋食のマナー テーブルマナー、テーブルセッティング、フランス料理 ふりかえり問題
16	第8章 食事のマナー Lesson4 パーティのマナー 立食パーティーとは、マナーとは ふりかえり問題

回数	講義内容
17	第8章 食事のマナー Lesson5 お酒のマナー お酒の種類、作り方で分ける、楽しみ方で分ける 合う料理で分ける、グラスの種類 ふりかえり問題
18	第8章 食事のマナー 章のまとめ ふりかえり練習問題
19	第9章 国際プロトコル Lesson1 国際プロトコル1(国際的・公的な場での5原則) 序列、右上位、レディファースト、相互主義・返礼、異文化尊重 国際プロトコル2(レディファースト) ふりかえり問題
20	第9章 国際プロトコル Lesson2 紹介とあいさつ 紹介、握手、名刺交換 ふりかえり問題
21	第9章 国際プロトコル Lesson3 好ましい話題、好ましくない話題、初対面での話題 好ましい話題は「てにしょく」(天気、ニュース、食事) 好ましくない話題は政治や宗教、病気、人の悪口、陰口、人のプライバシー ふりかえり問題
22	第9章 国際プロトコル Lesson4 国旗の掲揚 国旗はその国の象徴、敬意をはらって丁寧に扱う ふりかえり問題
23	第9章 国際プロトコル Lesson5 贈り物のマナー 特別な日に贈る、花を贈る、現金を贈る、ワインやシャンパンを贈る、お見舞い ふりかえり問題
24	第9章 国際プロトコル Lesson6 自国の文化、日本の文化を紹介する 章のまとめ ふりかえり練習問題

回数	講義内容
25	第10章 感動品質のサービス Lesson1 顧客満足度向上 CS顧客満足度 ふりかえり問題
26	第10章 感動品質のサービス Lesson2 サービスのプロフェッショナル サービスに必要な6つのS (Smile, Smart, Speed, Sincerity, Studey, Specialty) ふりかえり問題
27	第10章 感動品質のサービス Lesson3 会話をする力をつける 会話の広げ方(オープクエスチョン、クローズクエスチョン) 会話の深め方 ふりかえり問題
28	第10章 感動品質のサービス Lesson4 VIP対応 VIPとは? 章のまとめ ふりかえり練習問題
29	第11章 ご高齢や障がいのある方への対応 Lesson1 ご高齢の方への接し方(尊重する気持ち、おもてなしの心) Lesson2 車いすをご利用の方への接し方(車いす操作の注意点、車いすの主な各部の名称、接し方) ふりかえり問題
30	第11章 ご高齢や障がいのある方への対応 Lesson3 聴覚障害、言語障害をお持ちの方への接し方 おかれている状況、困ること、接し方 Lesson4 視覚障害のある方への接し方 障害の度合、おかれている状況、白状の役割、困ること、接し方
31	第11章 ご高齢や障がいのある方への対応 Lesson5 歩行障害をお持ちの方への接し方 おかれている状況、困ること、接し方 Lesson6 妊婦の方への接し方 おかれている状況、接し方
32	第11章 ご高齢や障がいのある方への対応 バリアフリー、ユニバーサルデザイン、ノーマライゼーション ふりかえり練習問題 章のまとめ、後期のまとめ(6～11章)

令和8年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	国際ITビジネス科			教科名	文書処理実習	
コース名	国際ITビジネスコース			担当者	戸川	
学 年	1年			教科番号	1104	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・ 実技	必修・選択の別	必修	
			○			
授業概要	日本語表示のパソコンを使い、日本語入力を学習する。 日本のビジネス文書の形式を学習する。 簡単なビジネス文書（表作成含む）を作成できる技術を学習する。					
到達目標	①タイピングソフト(外国人留学生タイピング、ローマ字タイピング1.0.0)を使って、ひらがな、カタカナ、漢字を入力することができる。 ②日本語の文書を入力することができる。 ③簡単な表作成や画像処理ができる。 ④簡単なリーフレットを作成することができる。 ⑤簡単なビジネス文書を作成することができる。					
教材名	留学生のためWord2021 ワークブック ルビ付き					
資格の 取得目標	なし					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性						
履修に あたっての 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・留学生は出席率を重視するので授業を欠席しないこと。 ・教科書（フリガナ付き）を音読してもらい、発音の矯正や日本語の理解度を確認する。 ・試験や検定試験は行わないが、日本語入力ができることを確認する。 ・携帯電話等、授業に関係のないものはバックにしまう ・イヤホン、ヘッドホンは外す ・授業とは関係ないサイトを開いたりしない ・わからないことは日本語で質問する 					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割合	0%	30%	30%	40%	0%	100%

回数	講義内容
1	<ul style="list-style-type: none"> ・授業オリエンテーション ・シラバス、評価基準について ・パソコン利用歴と自己紹介 ・パソコンの取り扱い、実習室のルールについて
2	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピングソフトを使用してタイピング練習(外国人留学生タイピング、ローマ字タイピング1.0.0) ・日本語入力と漢字変換 ・半角文字と全角文字の違い ・文字の削除
3	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピングソフトを使用してタイピング練習(外国人留学生タイピング、ローマ字タイピング1.0.0) ・ファイルの保存と読み込み ・Wordの画面構成 ・表示モードの変更
4	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピングソフトを使用してタイピング練習(外国人留学生タイピング、ローマ字タイピング1.0.0) ・文字の書式設定(1) ・文字サイズ、色、フォントの指定 ・フォルダの作成
5	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピングソフトを使用してタイピング練習(外国人留学生タイピング、ローマ字タイピング1.0.0) ・太字、斜体、下線などの指定 ・蛍光ペンと文字の効果 ・その他の文字書式
6	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピングソフトを使用してタイピング練習(外国人留学生タイピング、ローマ字タイピング1.0.1) ・段落とは ・段落の選択と段落書式の指定 ・文字の配置の指定
7	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピングソフトを使用してタイピング練習(外国人留学生タイピング、ローマ字タイピング1.0.2) ・グリッド線の表示 ・行間の考え方 ・インデントの指定
8	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピングソフトを使用してタイピング練習(外国人留学生タイピング、ローマ字タイピング1.0.3) ・箇条書きの指定と解除 ・段落番号の指定と解除

回数	講義内容
9	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピングソフトを使用してタイピング練習(外国人留学生タイピング、ローマ字タイピング1.0.5) ・段落の罫線と網掛け ・段落罫線の描画 ・罫線の詳細設定と段落の網掛け
10	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピングソフトを使用してタイピング練習(外国人留学生タイピング、ローマ字タイピング1.0.4) ・ビジネス文書について ・社内文書と社外文書 ・違いについて
11	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピングソフトを使用してタイピング練習(外国人留学生タイピング、ローマ字タイピング1.0.7) ・スタイルの活用 ・スタイルの適用、作成
12	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピングソフトを使用してタイピング練習(外国人留学生タイピング、ローマ字タイピング1.0.7) ・ヘッダーとフッターとは ・ヘッダーとフッターの指定 ・ヘッダーとフッターの入力、ページ番号の入力
13	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピングソフトを使用してタイピング練習(外国人留学生タイピング、ローマ字タイピング1.0.7) ・ヘッダーとフッターとは ・ヘッダーとフッターの指定 ・ヘッダーとフッターの入力、ページ番号の入力
14	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピングソフトを使用してタイピング練習(外国人留学生タイピング、ローマ字タイピング1.0.9) ・印刷プレビューの確認 ・印刷の設定 ・PDFファイルの作成
15	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピングソフトを使用してタイピング練習(外国人留学生タイピング、ローマ字タイピング1.0.10) ・ページ設定(用紙サイズの変更、用紙向きの変更) ・横書き、縦書きの変更 ・余白の変更
16	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピングソフトを使用してタイピング練習(外国人留学生タイピング、ローマ字タイピング1.0.11) ・表作成(1) ・行、列の挿入 ・行、列の削除 ・表内文字の配置

回数	講義内容
17	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピングソフトを使用してタイピング練習(外国人留学生タイピング、ローマ字タイピング1.0.11) ・表作成(1) ・行、列の挿入 ・行、列の削除 ・表内文字の配置
18	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピングソフトを使用してタイピング練習(外国人留学生タイピング、ローマ字タイピング1.0.13) ・表作成(3) ・表のサイズ変更 ・列の幅、行の高さの変更、列の幅、行の高さを揃える ・表の移動、セルの結合
19	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピングソフトを使用してタイピング練習(外国人留学生タイピング、ローマ字タイピング1.0.14) ・画像の利用(1) ・画像の挿入、サイズの変更 ・画像の配置、移動、レイアウト
20	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピングソフトを使用してタイピング練習(外国人留学生タイピング、ローマ字タイピング1.0.14) ・画像の利用(1) ・画像の挿入、サイズの変更 ・画像の配置、移動、レイアウト
21	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピングソフトを使用してタイピング練習(外国人留学生タイピング、ローマ字タイピング1.0.16) ・図形の描画 ・塗りつぶしと枠線 ・図形の効果、図形のスタイル
22	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピングソフトを使用してタイピング練習(外国人留学生タイピング、ローマ字タイピング1.0.17) ・テキストボックスの作成、移動とサイズ変更 ・テキストボックスの書式設定、 ・ワードアートの作成、書式設定
23	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピングソフトを使用してタイピング練習(外国人留学生タイピング、ローマ字タイピング1.0.18) ・段組みの作成 ・縦組み、横組み ・段区切り
24	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピングソフトを使用してタイピング練習(外国人留学生タイピング、ローマ字タイピング1.0.19) ・SmartArtの作成(1) ・図形の追加と削除、図形内の文字書式 ・練習問題

回数	講義内容
25	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピングソフトを使用してタイピング練習(外国人留学生タイピング、ローマ字タイピング1.0.20) ・タブの活用 ・検索と置換 ・練習問題
26	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピングソフトを使用してタイピング練習(外国人留学生タイピング、ローマ字タイピング1.0.20) ・暑中見舞いはがきについて ・あて名の作成 ・文面の作成
27	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピングソフトを使用してタイピング練習(外国人留学生タイピング、ローマ字タイピング1.0.22) ・楠祭の準備資料の作成① ・グループごとに資料作成 ・作成資料の確認
28	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピングソフトを使用してタイピング練習(外国人留学生タイピング、ローマ字タイピング1.0.22) ・楠祭の準備資料の作成② ・グループごとに資料作成 ・作成資料の確認
29	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピングソフトを使用してタイピング練習(外国人留学生タイピング、ローマ字タイピング1.0.22) ・楠祭の準備資料の作成③ ・グループごとに資料作成 ・作成資料の確認
30	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピングソフトを使用してタイピング練習(外国人留学生タイピング、ローマ字タイピング1.0.22) ・楠祭の準備資料の作成④ ・グループごとに資料作成 ・作成資料の確認
31	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピングソフトを使用してタイピング練習(外国人留学生タイピング、ローマ字タイピング1.0.22) ・楠祭の準備資料の作成⑤ ・グループごとに資料作成 ・作成資料の最終確認
32	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピングソフトを使用してタイピング練習(外国人留学生タイピング、ローマ字タイピング1.0.22) ・Wordのまとめ ・練習問題 ・理解度確認 等

令和8年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	国際ITビジネス科			教科名	EXCEL実習	
コース名	国際ITビジネスコース			担当者	戸川	
学 年	1年			教科番号	1105	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
			○			
授業概要	日本語表示のパソコンを使い、ビジネスシーンに必要なExcel表計算に関する知識と技術を学習する。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語で書かれたコンピュータ用語を理解することができる。 ・テキストを音読して内容を理解することができる。 ・Excelの基本操作を行うことができる。 ・表の作成ができる。 ・基本的な関数を理解することができる。 ・グラフ作成ができる。 ・簡単なデータベース（並べ替え、抽出）ができる。 					
教材名	留学生のためのExcel2021 ワークブック ルビ付き					
資格の 取得目標	なし					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性						
履修に あたっての 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・留学生は出席率を重視するので授業を欠席しないこと。 ・教科書（フリガナ付き）を音読してもらい、発音の矯正や意味の理解度を確認する。 ・後期末試験を行い、関数の理解度を確認する。 ・携帯電話等、授業に関係のないものはバックにしまう。 ・イヤホン、ヘッドホンは外す。 ・授業とは関係ないサイトを開いたりしない。 ・わからないことは日本語で質問する。 					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	30%	0%	30%	40%	0%	100%

回数	講義内容
1	<ul style="list-style-type: none"> ・授業オリエンテーション ・Excelの起動と文字入力 ・Excelの起動画面
2	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習 ・オートフィルについて(Wordとの違い) ・オートフィルの使い方 ・連続データの入力 ・連続する数値、文字のコピー
3	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習 ・数式の作り方、入力(四則演算) ・演算記号について ・セル参照した数式
4	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習 ・基本操作(セルの選択範囲) ・文字の書式設定 ・セルの背景色と罫線の指定 ・行、列の操作
5	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習 ・文字の配置の指定 ・標準の表示形式 ・小数点以下の表示桁数 ・セルの書式設定(1)(2)
6	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習 ・オートフィルの復習 ・セルの結合 ・折り返して全体を表示 ・絶対参照について
7	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習 ・ワークシートの操作(ファイル名変更、移動、挿入、削除) ・ワークシートの印刷 ・PDFファイルの作成
8	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習 ・数式の入力復習、演算記号の確認 ・関数の入力(1) ・合計を求める関数(SUM) ・平均、数値の個数、最大値、最小値を求める関数

回数	講義内容
9	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習 ・関数の入力(2) ・関数のオートフィル(相対参照) ・論理関数(IF関数) ・練習問題
10	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習 ・論理関数(IF関数) ・関数のネスト ・NULLの使い方
11	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習 ・論理関数のネスト(IF&IF) ・IFS関数 ・練習問題
12	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習 ・論理関数(RANK.EQ関数) ・練習問題
13	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習 ・VLOOKUP関数 ・練習問題
14	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習 ・VLOOKUP関数 ・エラー値(#N/A)の回避方法 ・練習問題
15	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習 ・HLOOKUP関数 ・練習問題
16	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習 ・グラフの作成 ・グラフの移動とサイズ変更 ・グラフの種類の変更、行列の入れ替え

回数	講義内容
17	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習 ・折れ線グラフ ・円グラフ ・スパークライン ・練習問題
18	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習 ・レーダーチャート ・練習問題
19	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習 ・レーダーチャート ・複合グラフ
20	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習 ・複合グラフ練習問題 ・CSVファイルについて
21	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習 ・データの並び替え ・データを数値順に並べ替える ・ふりがなの表示と編集(漢字の並び替え)
22	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習 ・JLPTのPC版の問題 ・PCで出来るJLPTの対策
23	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習 ・フィルターの活用・データの抽出 ・複数の抽出条件 ・ワイルドカードについて(アスタリスクとスラッシュ)
24	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習 ・ワイルドカードの使い方 ・条件付き書式 ・データバーの表示

回数	講義内容
25	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習 ・ウィンドウ枠の固定 ・シートの保護 ・画像や図形の挿入
26	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習 ・3D集計(串さし集計) ・シートのグループ化
27	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習 ・3D集計練習問題
28	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習 ・DB(データベース)関数について ・DSUM、DAVG、DMAX、DMIN関数
29	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の復習 ・DB(データベース)関数練習問題
30	<ul style="list-style-type: none"> ・総復習(1) ・試験対策 ・練習問題
31	<ul style="list-style-type: none"> ・総復習(2) ・試験対策 ・練習問題
32	<ul style="list-style-type: none"> ・後期試験対策 ・教科書の音読練習 ・練習問題

令和8年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	国際ITビジネス科			教科名	プレゼンテーション演習	
コース名	国際ITビジネスコース			担当者	戸川	
学 年	1年			教科番号	1106	単位数 4.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
		○				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語表示のパソコンでプレゼンテーション作成ソフト（PowerPoint）の使い方を学習し、資料作成ができる技術を習得する。 ・日本語でプレゼンテーションする表現力を習得する。 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書を音読して意味を理解し、PowerPointの基本操作を行うことができる。 ・PowerPointでプレゼンテーション資料を作成することができる。 ・適切な速度や声量で、日本語の原稿を棒読みせずに自分の言葉でプレゼンテーションができるようになる。 ・日本語でスピーチ（正しい発音で）することができる。 					
教材名	留学生のためのPowerPoint2021 ワークブック ルビ付き その他、プリント教材配布					
資格の 取得目標	なし					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性						
履修に あたっての 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・留学生は出席率を重視するので授業を欠席しないこと。 ・教科書（フリガナ付き）を音読してもらい、発音の矯正や日本語の理解度を確認する。 ・試験や検定試験は行わないが、日本語入力ができることを確認する。 ・携帯電話等、授業に関係のないものはバックにしまう ・イヤホン、ヘッドホンは外す ・授業とは関係ないサイトを開いたりしない ・わからないことは日本語で質問する 					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割合	0%	30%	30%	40%	0%	100%

回数	講義内容
1	<ul style="list-style-type: none"> ・授業オリエンテーション 授業目的や目標について 評価基準について 履修にあたっての留意点など ・アイスブレイク(グループ内自己紹介)
2	<ul style="list-style-type: none"> ・アイスブレイク(グループワーク) しりとり 単語いくつ書けるかな? 蚊取り線香、四角形ピザ 結果発表
3	<ul style="list-style-type: none"> ・PowerPointの役割 ・PowerPointの起動と画面構成 ・タイトルスライドの作成 ・箇条書きのレベル変更
4	<ul style="list-style-type: none"> ・スライドのデザイン ・テーマの適用と変更 ・文字の書式設定(1)(2)
5	<ul style="list-style-type: none"> ・段落書式の指定(1)(2) ・行頭文字の変更、削除 ・段落番号の指定 ・配置の指定、行間の指定、縦書きの指定 ・練習問題
6	<ul style="list-style-type: none"> ・画像や動画の挿入 ・スライドに画像を挿入 ・表の作成と編集 ・練習問題
7	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフの作成と編集 ・練習問題
8	<ul style="list-style-type: none"> ・SmartArtの作成と編集 ・テキストボックスの活用 ・練習問題

回数	講義内容
9	<ul style="list-style-type: none"> ・スライドショーとリハーサル ・画面切り替えの指定 ・アニメーションの指定
10	<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料の作成 ・発表用原稿の作成 ・発表者ツールの操作
11	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘッダーとフッターとは？ ・ヘッダーとフッターの設定 ・総合練習問題
12	<ul style="list-style-type: none"> ・楠祭について ・楠祭のプレゼンテーションについて ・過去の楠祭プレゼンの紹介 ・グループ分け
13	<p>【課題1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに楠祭プレゼンテーションの作成① 作成方法 など
14	<p>【課題1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに楠祭プレゼンテーションの作成② 作成内容の確認
15	<p>【課題1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに楠祭プレゼンテーションの作成③ 作成内容の確認 プレゼンテーション準備
16	<p>【課題1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに楠祭プレゼンテーションの作成③ 作成内容の確認 プレゼンテーション準備

回数	講義内容
17	<ul style="list-style-type: none"> ・【課題2】のプレゼンテーション資料の作成 ① 作成方法について テーマ「母国のどんな商品を日本に売りたいか」と「日本のどんな商品を母国に売りたいか」 データ収集 PowerPointで資料作成
18	<ul style="list-style-type: none"> ・【課題2】のプレゼンテーション資料の作成 ② テーマ「母国のどんな商品を日本に売りたいか」と「日本のどんな商品を母国に売りたいか」 データ収集 PowerPointで資料作成
19	<ul style="list-style-type: none"> ・【課題2】のプレゼンテーション資料の作成 ③ テーマ「母国のどんな商品を日本に売りたいか」と「日本のどんな商品を母国に売りたいか」 データ収集 PowerPointで資料作成
20	<ul style="list-style-type: none"> ・【課題2】のプレゼンテーション ① 発表順を決めてプレゼンテーション実施(6～7名) 総括
21	<ul style="list-style-type: none"> ・【課題2】のプレゼンテーション ② 発表順を決めてプレゼンテーション実施(6～7名) 総括
22	<ul style="list-style-type: none"> ・【課題2】のプレゼンテーション ③ 発表順を決めてプレゼンテーション実施(6～7名) 総括
23	<ul style="list-style-type: none"> ・【課題2】のプレゼンテーション ④ 発表順を決めてプレゼンテーション実施(6～7名) 総括
24	<ul style="list-style-type: none"> ・【課題3】のプレゼンテーション資料の作成① テーマは自由(テーマ決め、資料集め 等) PowerPointで資料作成

回数	講義内容
25	<ul style="list-style-type: none"> ・【課題3】のプレゼンテーション資料の作成② テーマは自由(テーマ決め、資料集め 等) PowerPointで資料作成
26	<ul style="list-style-type: none"> ・【課題3】のプレゼンテーション資料の作成③ テーマは自由(テーマ決め、資料集め 等) PowerPointで資料作成 発表準備
27	<ul style="list-style-type: none"> ・【課題3】のプレゼンテーション ① 発表順を決めてプレゼンテーションを実施(6名程度) 総括
28	<ul style="list-style-type: none"> ・【課題3】のプレゼンテーション ② 発表順を決めてプレゼンテーションを実施(6名程度) 総括
29	<ul style="list-style-type: none"> ・【課題3】のプレゼンテーション ③ 発表順を決めてプレゼンテーションを実施(6名程度) 総括
30	<ul style="list-style-type: none"> ・【課題3】のプレゼンテーション ④ 発表順を決めてプレゼンテーションを実施(6～7名程度) 総括
31	<ul style="list-style-type: none"> ・グループディスカッション(GD) グループディスカッションについて(目的、グループ編成、役割分担等) テーマ発表 グループごとにPowerPointでプレゼン資料の作成
32	<ul style="list-style-type: none"> ・グループディスカッション(GD) グループごとにPowerPointでプレゼン資料の作成 プレゼンテーション実施 総括

令和8年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	国際ITビジネス科			教科名	異文化コミュニケーション	
コース名	国際ITビジネスコース			担当者	久保田	
学 年	1年			教科番号	1107	単位数 4.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
		○				
授業概要	日本人の四季折々の暮らし、伝統、行事などを学習する。演習を通して、国の文化や生活習慣を比較しながら、異文化の理解を深める。多文化共生を目指していく。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日本人の四季折々の暮らし、伝統、行事などを学び、自国の文化や生活習慣を比較しながら、異文化の理解ができる。 ・日本の歴史の概要を学び各地の四季折々の行事やそれにかかわる生活様式等理解することができる。 ・日本観光地各地の特色、観光地の世界遺産を学び、自国の知人、友人に紹介することができる。 ・自国の観光地、習慣などを教室内で発表することができる。 					
教材名	知っていますか 日本のこと—学ぼう話そう日本事情（2026年度版）					
資格の 取得目標	なし					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性						
履修に あたっての 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ①各テーマについて、自国の場合はどうか、あるいは自分はどのように考えるかを発表出来るようにする。 ②積極的な発言・ワークなどにおける協働を行うこと。（質問、考えを述べる など） ③授業中はスマートフォン、イヤホン、ヘッドホンの使用は禁止する。（鞆にしまう等） ④理解度を確認するため、学期末には試験を行う。 					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割合	30%	10%	30%	30%	0%	100%

回数	講義内容
1	<ul style="list-style-type: none"> ・授業オリエンテーション 授業の進め方 評価基準について 自己紹介 など
2	<ul style="list-style-type: none"> ・1課 プロローグ 日本について人口、首都、国旗など基本的なデータを把握する 日本のおおまかな気候、地理などを把握する 現代日本人の生活を知る
3	<ul style="list-style-type: none"> ・1課 プロローグ 日本の概観を理解し、自分の国と比較して話すことができる
4	<ul style="list-style-type: none"> ・2課 日本人の名前 日本人の名前の構造を知る 日本人に多い名字と成り立ちを知る 日本人の名付け方を知る
5	<ul style="list-style-type: none"> ・2課 日本人の名前 日本人の名前を聞いて性別が推測できる 名字の使われ方や名前の呼ばれ方から、日本人の人間関係を理解する
6	<ul style="list-style-type: none"> ・3課 野球と日本人 野球の基本的ルール、守備のポジション、道具を知る 日本の有名なプロ野球チーム、球場名を知る 日本人の野球の楽しみ方を把握する 日本での野球の人気について理解する
7	<ul style="list-style-type: none"> ・3課 野球と日本人 自分の国で人気のあるスポーツと比較し、背景や理由について話すことができる 野球観戦が楽しめる 日本人と野球の話題で楽しく会話ができる
8	<ul style="list-style-type: none"> ・4課 マンガ・アニメ 日本人とマンガ・アニメの関わり方を理解する マンガの読み方がわかる 有名なマンガ・アニメのキャラクターを知る マンガを通して擬音語、擬態語を理解する

回数	講義内容
9	<ul style="list-style-type: none"> ・4課 マンガ・アニメ 日本のマンガ・アニメが楽しめる 日本人とマンガ・アニメの話題で楽しく会話ができる 世界で日本のマンガ・アニメが人気がある理由が考察できる
10	<ul style="list-style-type: none"> ・コラム1 季節と対策 冬を温かく過ごす方法がわかる 体調を崩すことなく快適に日本での生活が送れる ・コラム2 文化史資料 日本人の大衆文化についての概観を得、見識を広め、豊富な話題で日本人と話せる
11	<ul style="list-style-type: none"> ・5課 いろいろな言葉づかい 場面・相手によって言葉を使い分けることを理解する 場面・相手によって言葉を使い分けることができるようになる 依頼、誘い、断り、質問、謝罪
12	<ul style="list-style-type: none"> ・5課 いろいろな言葉づかい 場面・話し相手に応じて正しい言葉の選択ができる
13	<ul style="list-style-type: none"> ・コラム3 マナー・習慣・ルール 日常生活の中で状況や相手によって配慮すべきさまざまなマナー・習慣・ルールがあることがわかる 学校生活の中で学生として守るべきマナーやルールがあることが理解できる
14	<ul style="list-style-type: none"> ・6課 日本人の一生 日本人が一生のうちに行う習慣・行事について、その年齢や目的、内容を理解する 日本人の宗教観を知る
15	<ul style="list-style-type: none"> ・6課 日本人の一生 日本人の行事に参加したとき、適切な振る舞いができる
16	<ul style="list-style-type: none"> ・7課 年賀状・手紙・Eメール 年賀状を正しく書くことができる 日本語の手紙の基本的なルールを知り、丁寧な手紙が書ける 形式に応じて封筒、はがきにあて名・差出人等の情報が書ける

回数	講義内容
17	<ul style="list-style-type: none"> ・7課 年賀状・手紙・Eメール Eメールと手紙の書き方の違いを理解し、場面の応じたEメールが書ける 暑中見舞いなど、季節の挨拶状を送ることができる
18	<ul style="list-style-type: none"> ・コラム4 年中行事カレンダー 季節ごとにどんな年中行事があるかを知る
19	<ul style="list-style-type: none"> ・8課 すもう 相撲の歴史、ルール、有名な力士を知る 力士にあるための条件、力士の生活を知る 番付・星取り表が読める
20	<ul style="list-style-type: none"> ・8課 すもう すもう観戦が楽しめる 日本人とすもうの話題で楽しく会話ができる
21	<ul style="list-style-type: none"> ・コラム5 トラブル対策 普段の生活で起こりうるトラブルについて意識し、その対処方法がわかる 基本的な交通ルールがわかる
22	<ul style="list-style-type: none"> ・9課 専門学校への進学 日本の教育制度を把握する 専門学校と大学の違いを理解する 自分の進学する専門学校について説明できる
23	<ul style="list-style-type: none"> ・9課 専門学校への進学 専門学校と大学の違いを理解したうえで、面接試験で正しい受け答えができる 将来の目標ややりたい仕事、そのために必要な知識について説明できる
24	<ul style="list-style-type: none"> ・10課 日本の観光地 日本の都道府県名と県庁所在地名を知る 日本の世界遺産の所在地と特色について知る

回数	講義内容
25	<ul style="list-style-type: none"> ・10課 日本の観光地 日本の各地方の特色について話すことができる 日本の世界遺産について簡単な説明ができる 日本での国内旅行のプランが立てられる
26	<ul style="list-style-type: none"> ・11課 歴史 日本史の時代区分と流れがわかる それぞれの時代でだれが主権を持っていたかわかる それぞれの時代の首都(都・幕府)の所在地がわかる 日本人なら誰でも知っている有名な歴史上の人物を知る
27	<ul style="list-style-type: none"> ・11課 歴史 日本史の概観を理解し、日本の歴史についての話題に対応できる 日本の歴史について簡単に自分の言葉で説明できる
28	<ul style="list-style-type: none"> ・コラム6 方言 方言と標準語の違いを理解する 方言のアクセントや表現を知る
29	<ul style="list-style-type: none"> ・コラム7 政治 日本の政治のシステムを理解する 日本国憲法のポイント、国民の義務と権利が簡単に説明できる 税の仕組み、最近の社会と法律について知る
30	<ul style="list-style-type: none"> ・課題 「日本人50人に聞きました」 調べたい内容に到達できるような質問が作れる 日本人にインタビューができる
31	<ul style="list-style-type: none"> ・課題 「日本人50人に聞きました」 データを日本語でまとめられる クラスで日本語でわかりやすく発表できる
32	<ul style="list-style-type: none"> ・課題 「日本人50人に聞きました」 理論だててリサーチができる パソコンでレジュメを作ることができる 聞き手が楽しめるプレゼンテーションができる

令和8年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	国際ITビジネス科			教科名	ビジネス日本語	
コース名	国際ITビジネスコース			担当者	戸川	
学 年	1年			教科番号	1108	単位数 4.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・ 実技	必修・選択の別	必修	
		○				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスシーンにおいて、依頼する、スピーチするなどの機能・場面別に敬語での日本語コミュニケーション力を学習する。 ・ビジネスシーンを想定して実際の仕事における日本語敬語表現を学習する。 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ①ビジネスシーンにおいて敬語でコミュニケーションができる。 ②バリエーション練習を通して、いろいろな類似表現を身に付けることができる。 ③自然な会話を通して、実際の日本語の音やリズムに慣れることができる。 					
教材名	新にほんご敬語トレーニング（アスク出版）					
資格の 取得目標	なし					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性						
履修に あたっての 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 期末試験の音読時には発話明瞭度および内容理解が点数に含まれる。 ・ 今回のテキストはCD付きでハードウェアがない場合音声ダウンロードサービスがあるので、各自自習ができる。 ・ 留学生は出席率を重視するので授業を欠席しないこと。 ・ 携帯電話等、授業に関係のないものはバックにしまう。 ・ イヤホン、ヘッドホンは外す。 ・ わからないことは日本語で質問する ・ 教室内では日本語でコミュニケーションをとること。 					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割合	30%	0%	30%	40%	0%	100%

回数	講義内容
1	<ul style="list-style-type: none"> ・授業オリエンテーション ・教科書の使い方 ・音声データの紹介 ・敬語の入口
2	<p>【訪問する】例文を敬語表現に変換する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習しましょう1～5 ・これでOK! ・やってみましょう! ・スタイルを変えてみましょう!
3	<p>【訪問する】例文を敬語表現に変換する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習しましょう1～5 ・これでOK! ・やってみましょう! ・スタイルを変えてみましょう!
4	<p>【簡単にあいさつする】例文を敬語表現に変換する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習しましょう1～5 ・これでOK! ・やってみましょう! ・スタイルを変えてみましょう!
5	<p>【簡単にあいさつする】例文を敬語表現に変換する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習しましょう1～5 ・これでOK! ・やってみましょう! ・スタイルを変えてみましょう!
6	<p>【誘う】例文を敬語表現に変換する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習しましょう1～5 ・これでOK! ・やってみましょう! ・スタイルを変えてみましょう!
7	<p>【誘う】例文を敬語表現に変換する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習しましょう1～5 ・これでOK! ・やってみましょう! ・スタイルを変えてみましょう!
8	<p>【お願いする】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習しましょう1～5 ・これでOK! ・やってみましょう! ・スタイルを変えてみましょう!

回数	講義内容
9	<p>【お願いする】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習しましょう1～5 ・これでOK! ・やってみましょう! ・スタイルを変えてみましょう!
10	<p>【断る】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習しましょう1～5 ・これでOK! ・やってみましょう! ・スタイルを変えてみましょう!
11	<p>【断る】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習しましょう1～5 ・これでOK! ・やってみましょう! ・スタイルを変えてみましょう!
12	<p>【申し出る】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習しましょう1～5 ・これでOK! ・やってみましょう! ・スタイルを変えてみましょう!
13	<p>【申し出る】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習しましょう1～5 ・これでOK! ・やってみましょう! ・スタイルを変えてみましょう!
14	<p>【おわびする】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習しましょう1～5 ・これでOK! ・やってみましょう! ・スタイルを変えてみましょう!
15	<p>【おわびする】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習しましょう1～5 ・これでOK! ・やってみましょう! ・スタイルを変えてみましょう!
16	<p>【意見を言う】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習しましょう1～5 ・これでOK! ・やってみましょう! ・スタイルを変えてみましょう!

回数	講義内容
17	<p>【意見を言う】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習しましょう1～5 ・これでOK! ・やってみましょう! ・スタイルを変えてみましょう!
18	<p>【予約をうける】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習しましょう1～5 ・これでOK! ・やってみましょう! ・スタイルを変えてみましょう!
19	<p>【予約をうける】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習しましょう1～5 ・これでOK! ・やってみましょう! ・スタイルを変えてみましょう!
20	<p>【サービスの敬語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習しましょう ・スタイルを変えてみましょう ・例文を敬語表現に変換する
21	<p>【サービスの敬語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習しましょう ・スタイルを変えてみましょう ・例文を敬語表現に変換する
22	<p>【スピーチをする】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習しましょう ・敬語でのスピーチをやってみましょう!
23	<p>【スピーチをする】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習しましょう ・敬語でのスピーチをやってみましょう!
24	<p>【面接をする】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習しましょう ・これでOK! ・やってみましょう! ・スタイルを変えてみましょう!

回数	講義内容
25	<p>【面接をする】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習しましょう ・これでOK! ・やってみましょう! ・スタイルを変えてみましょう!
26	<p>【電話の敬語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習しましょう ・これでOK! ・やってみましょう! ・スタイルを変えてみましょう!
27	<p>【電話の敬語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習しましょう ・これでOK! ・やってみましょう! ・スタイルを変えてみましょう!
28	<p>【インタビューをする】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習しましょう ・これでOK! ・やってみましょう! ・スタイルを変えてみましょう!
29	<p>【インタビューをする】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習しましょう ・これでOK! ・やってみましょう! ・スタイルを変えてみましょう!
30	<p>【報告をする】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習しましょう ・これでOK! ・やってみましょう! ・スタイルを変えてみましょう!
31	<p>【報告をする】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習しましょう ・これでOK! ・やってみましょう! ・スタイルを変えてみましょう!
32	<p>【司会の敬語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習しましょう ・これでOK! ・やってみましょう! ・スタイルを変えてみましょう! ・まとめ

令和 8 年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	国際ITビジネス科			教科名	ビジネス日本語	
コース名	国際ITビジネスコース			担当者	小池	
学 年	1年			教科番号	1108	単位数 4.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
		○				
授業概要	<p>「話せる」ことに特化する。文法の暗記ではなく、特定の場面（挨拶、依頼、断りなど）で「何と言えよいか」というできることを重視する。 自然な会話表現教科書的な硬い表現だけでなく、実際の生活で使われる自然なイントネーションやといった縮約形、あいづちの打ち方なども学ぶ。シャドウイング・練習の充実。短いダイアログ（会話）を繰り返し聞き、口に出す練習も行う。</p>					
到達目標	<p>場面に応じた「遂行能力」の向上 単に言葉を知っているだけでなく、特定のシチュエーションで「何ができるようになるか（Can-do）」を目標にします。</p> <p>初級：買い物、病院、駅など、日常生活の定型的な場面で必要な情報を伝え、聞き取ることができることを目標にします。</p> <p>中上級：予期せぬトラブルへの対応、苦情の申し立て、あるいは自分の意見を論理的に説明できることを目標にします。</p>					
教材名	新日本語会話トレーニング 小林ひとみ著 ASK出版					
資格の 取得目標	なし					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性						
履修に あたっての 留意点	<p>1. 「知識」から「運用」への意識改革 単語や文法を知っていることと、それを使って話せることは別物であることを強調します。 アウトプットの優先：文法の正誤にこだわりすぎて黙り込むのではなく、「不完全でも伝わること」を評価の軸に置く姿勢を伝えます。 間違える勇気：クラス全体で「間違いは学習のプロセスである」という安全な学習環境（心理的安全性の確保）を共有することが不可欠です。</p> <p>2. 場面設定（コンテキスト）の理解 会話には必ず「相手」と「状況」があることを意識させます。 TPOの遵守：誰に対して（先生、友人、店員）、どのような場所で話しているのかを常に意識させ、不適切な敬語やタメ口の使用が相手に与える印象について理解を促します。</p>					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合		30%	30%	40%		100%

回数	講義内容
1	<p>オリエンテーション 授業の進め方、評価基準の説明、アイスブレイク 敬語表現とカジュアル表現 本書に出てくる登場人物</p>
2	<p>パート1 UNIT1 電車に乗る(1)前半 電車の切符を買うときどんな人とどんな会話をする。 会話シャドーイング音とリズムになれる</p>
3	<p>UNIT1 電車に乗る(後半) 電車の切符を買うときどんな人とどんな会話をする。 会話シャドーイング いろいろな形になることを理解。 自分でいってみる。 ロールプレイ</p>
4	<p>UNIT2 電車に乗る(2) 電車に乗るときどんな表現を使う。 会話シャドーイング音とリズムになれる</p>
5	<p>UNIT3 電車に乗る(3) 目的地までの行き方や乗り換えの方法訪ねるとき、どんな表現を使う 会話シャドーイング音とリズムになれる</p>
6	<p>UNIT4 道や場所を訪ねる(1) 行きたい場所が見つからない。誰かに聞きたい。どんな表現を使う 会話シャドーイング音とリズムになれる</p>
7	<p>UNIT5 道や場所を訪ねる(2) 行きたい場所が見つからない。誰かに聞きたい。どんな表現をする。 会話シャドーイング音とリズムになれる</p>
8	<p>UNIT6 買い物(1) 店で買い物をするとき、どんなことを聞く、どんな表現を使う 会話シャドーイング音とリズムになれる。 いろいろな形になれる。自分でいってみる。 ロールプレイ</p>

回数	講義内容	
9	UNIT7 買い物(2) ほしい商品が決まったら、どんなことを聞く、どんな表現を使う 会話シャドーイング音とリズムになれる。 いろいろな形になれる。自分でいってみる。 ロールプレイ	
10	UNIT8 郵便局 郵便局で手紙を出したり、荷物を送ったりするとき、どんな表現を使う。 会話シャドーイング音とリズムになれる。 いろいろな形になれる。自分でいってみる。 ロールプレイ	
11	UNIT9 レストラン レストランで料理を注文するとき、どんな表現を使う 会話シャドーイング音とリズムになれる。 いろいろな形になれる。自分でいってみる。 ロールプレイ	
12	UNIT10 学食 大学の学食で食事するときレストランで料理を注文するとき、どんな表現を使う 会話シャドーイング音とリズムになれる。 いろいろな形になれる。自分でいってみる。 ロールプレイ	
13	UNIT11 図書館・コンピューター室 図書館やコンピューター室で、どんな表現を使う 会話シャドーイング音とリズムになれる。 いろいろな形になれる。自分でいってみる。 ロールプレイ	
14	UNIT12 病院 病院に行ったとき、どんな表現を使う 会話シャドーイング音とリズムになれる。 いろいろな形になれる。自分でいってみる。 ロールプレイ	
15	パート2 UNIT13 あいさつ 校で人にあいさつするとき、どんな表現を使う シャドーイング音とリズムになれる。 いろいろな形になれる。自分でいってみる。 ロールプレイ	学 会話
16	UNIT14 遊びの約束をする 友だちと遊びの約束をするとき、どんな表現を使う 話シャドーイング音とリズムになれる。 いろいろな形になれる。自分でいってみる。 ロールプレイ	会

回数	講義内容	UNIT
17	15 電話をかける 話をかけるとき基本的な表現方法を学ぶ。 シャドーイング音とリズムになれる。 いろいろな形になれる。自分でいってみる。 ロールプレイ	UNIT 電 会 話
18	16 待ち合わせ(1) 待ち合わせの時間と場所を決めるとき、どんな表現を使うか学ぶ。 会話シャドーイング音とリズムになれる。 いろいろな形になれる。自分でいってみる。 ロールプレイ	UNIT
19	17 待ち合わせ(2) 待ち合わせの時間に遅れそう！相手と会えない！どんな表現を使うか学ぶ。 会話シャドーイング音とリズムになれる。 いろいろな形になれる。自分でいってみる。 ロールプレイ	UNIT
20	18 物を贈る にプレゼントをあげるとき、お土産を渡すとき、どんな表現を使うか学ぶ。 会話シャドーイング音とリズムになれる。 いろいろな形になれる。自分でいってみる。 ロールプレイ	UNIT 友 だ ち
21	19 忘れ物 車に忘れ物をしてしまったとき、どんな表現を使うか学ぶ。 会話シャドーイング音とリズムになれる。 いろいろな形になれる。自分でいってみる。 ロールプレイ	UNIT 店 や 電
22	20 故障・トラブル 物が壊れたとき、調子が悪いとき、どんな表現を使うか学ぶ。 会話シャドーイング音とリズムになれる。 いろいろな形になれる。自分でいってみる。 ロールプレイ	UNIT
23	21 頼む・お願いする(1) 物が壊れたとき、調子が悪いとき・どんな表現を使うか学ぶ。 会話シャドーイング音とリズムになれる。 いろいろな形になれる。自分でいってみる。 ロールプレイ	UNIT
24	22 頼む・お願いする(2) お店で何かを頼むとき、店の人をお願いしたときどんな表現を使うか学ぶ。 会話シャドーイング音とリズムになれる。 いろいろな形になれる。自分でいってみる。 ロールプレイ	UNIT

回数	講義内容
25	<p>23 お礼を言う・謝る 「ありがとう」「ごめんなさい」だけじゃない。お礼を言うとき、謝るとき言葉を学ぶ。 会話シャドーイング音とリズムになれる。 いろいろな形になれる。自分でいってみる。 ロールプレイ</p> <p style="text-align: right;">UNIT</p>
26	<p>24 誘う・断る 方、断り方もいろいろあることを学ぶ。 シャドーイング音とリズムになれる。 いろいろな形になれる。自分でいってみる。 ロールプレイ</p> <p style="text-align: right;">UNIT 誘い 会話</p>
27	<p>25 希望を述べる 私はこれをして、私はこれがいいと伝えるにはどう表現するか学ぶ。 会話シャドーイング音とリズムになれる。 いろいろな形になれる。自分でいってみる。 ロールプレイ</p> <p style="text-align: right;">UNIT</p>
28	<p>UNIT26 申し出る・提案する れをしたい、私はこれがいいと伝えるにはどう表現するか学ぶ。 会話シャドーイング音とリズムになれる。 いろいろな形になれる。自分でいってみる。 ロールプレイ</p> <p style="text-align: right;">私はこ</p>
29	<p>7 相談する(1) い、私はこれがいいと伝えるにはどう表現するか学ぶ。 会話シャドーイング音とリズムになれる。 いろいろな形になれる。自分でいってみる。 ロールプレイ</p> <p style="text-align: right;">UNIT2 私はこれをした</p>
30	<p>相談する(2) 私はこれがいいと伝えるにはどう表現するか学ぶ。 会話シャドーイング音とリズムになれる。 いろいろな形になれる。自分でいってみる。 ロールプレイ</p> <p style="text-align: right;">UNIT28 相 私はこれをして、</p>
31	<p>UNIT29 止・注意私はこれをして、私はこれがいいと伝えるにはどう表現するか学ぶ。 会話シャドーイング音とリズムになれる。 いろいろな形になれる。自分でいってみる。 ロールプレイ</p> <p style="text-align: right;">許可・禁</p>
32	<p>振り返り</p>

令和8年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	国際ITビジネス科			教科名	日本語表現法(1組)	
コース名	国際ITビジネスコース			担当者	鶴本	
学 年	1年			教科番号	1109	単位数
授業形態	講義	演習	実験・実習・ 実技	必修・選択の別		必修
	○	△				
授業概要	<p>①日常的な場面、状況で使われる日本語を幅広い応答が出来るように学習する。</p> <p>②漢字の前後の文を読んで隠されているヒントを考えながら学習する。</p>					
到達目標	<p>①自発的に疑問点を述べ、幅広い応答ができるように学習する。</p> <p>②日々日常的な場面で使われる日本語の上達が感じられるように学習する。</p>					
教材名	<p>◦にほんご漢字トレーニング・松浦真理子・上妻直博・半田健一/株式会社アスク出版</p> <p>◦中級へ行こう 日本語の文型と表現55・平井悦子・三輪さち子/スリーネットワーク</p>					
資格の 取得目標	<p>◦入学時JLPT（日本語能力試験）N3以上有資格者はそれぞれ7月、12月にワンランクアップを目指す。</p> <p>◦入学時にN3を取得していない学生はN3取得を目指し、12月のJLPTでN3の取得を必須とする。</p>					
授業内容と 教員の実務経験 の関連性	<p>◦日本語の実務経験を有する教員が、その経験を活かし、日常的な場面で使われる日本語の適切な表現について、授業を行う。</p>					
履修に あたっての 留意点	<p>①テキスト内の短作文問題の提出厳守。また、おもな漢字部首の意味を学習し、文字を書く時に、へんとつくりをかけ離れて書かないように指導する。</p> <p>②短作文の文章作成力、内容の理解度が点数に含まれる。</p> <p>③授業内課題を必ず提出し、学期末の7月、12月には期末試験を行う。</p>					
評価基準	betsuno	②提出物	③授業態度	②	⑤外部評価	合計
割合	50%	20%	10%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	前期は「にほんご漢字トレーニング」のテキストを使用。別冊1の「にほんご 漢字トレーニング」ことばリストの使い方。テキストに入る前に、「漢字学習のことば」（部首・送り仮名・音の記号・音読み・書き順・訓読み・線・手書き・点・止め・はね・はらい）を学習。Part0：step1 本の字（印刷文）と手書き字の違い（手書き・明朝体・ゴシック体・教科書体）
2	PART0: Step2漢字をきれいに書くポイント・漢字の基本の形 1. 点（たて・ななめ） 2. まっすぐ+とめる線 3. まっすぐ+はねる線 4. 曲がってはねる線 5. 折れる線 6. はらう線
3	Part0：解説2漢字がきれいに書けるように考えられた書き順のルール 1. 基本のルール 2. 真ん中の線から書く 3. 真ん中の線を最後に書く。 4. 中を書いてから外を書く 5. 外を書いてから中を書く
4	Part0： 解説3：「とめ」、「はね」、「はらい」の線の違いに気を付けて練習。 解説4：ぜんたいのバランスに気をつける。練習4（1～8）
5	PART0: 復習。練習：新規会員登録書で練習。 1. 口座開設申込書 2. 定期券購入申込書（生年月日の明治・大正・昭和・平成・令和について学習） ふりがなとフリガナの違い。
6	3. 宅配便の送り状：でそれぞれの書き方を学習。 コラム：どうしてひらがなではなくて漢字を使うか意味を学ぶ。
7	Part1：漢字の読み方を推測する。 Step1：漢字の読み方がわかる記号を学習。解説で漢字の読み方（音読み）がわかる漢字を練習1のⅠ、Ⅱで同じ形を持つ漢字を選び、練習2のⅠから音の記号からの読み方を書き、Ⅱで漢字の同じ形を学習し読み方を覚える。
8	PART1 Step1・練習2のⅠ、Ⅱから□の中の音の記号から読み方を（ ）に書く。 ・漢字の読み方を推測する。

回数	講義内容
9	Part1 Step1 練習3 I、II、III、IVの□の音の記号に注意してで読み方を書く。
10	PART1 Step2 漢字の読み方が変わるルール 解説1 漢字と漢字を組み合わせると読み方(音)が変わるルールをパターン①の例1, 2, 3で学んで練習1で学習。 PART1 Step2 練習3 I・II・III・IVで読み方を学習
11	PART1 復習問題 I・II・III
12	PART1 付録練習 解説でメールの漢字変換について学習。I、IIで練習。コラムで音読みと訓読みを学ぶ。
13	Part 2 漢字の意味を推測する。Step1 漢字の意味がわかる記号「部首」を学習する。練習1. I、IIで同じ形を持つ漢字を選ぶ。
14	Part 2 Step1 練習2. I、II、III、IVの漢字の同じ部首からことばの意味を選ぶ。
15	Part 2 Step1 練習3 I、II、III、IV部首を書き加える練習。
16	Part 2 Step1 練習4 I、IIで文章の()に当てはまる言葉を選ぶ。

回数	講義内容
17	PART 2 Step2 漢字一字の意味を考える。解説で音読み訓読みを学習し、PART1のコラムで学習した、音読み、訓読みを思い出しつつ練習1のⅠ、Ⅱで学習。
18	Part2復習問題Ⅰ、Ⅱ、は左の漢字一文字を各問題a, bに当てはまる漢字□の中から選ぶ。 ◦コラム男性の名前、女性の名前漢字の持つ意味イメージをを学習する。
19	PART 3 少しの漢字からことばを増やすで解説の▶①後ろにつくことが多い漢字の例：□館、②前につくことが多い漢字の例：最□ ③どちらにもよくつく漢字の例：□独□を学ぶ。 Step1 漢字の後ろについてことばを作る漢字：練習1の例：駐車場、事務所などその漢字一文字の意味a. b. c. を学習する。1～5
20	PART3 練習2 □の漢字一字と下のことばを組み合わせで1～7の_____空欄に当てはまることばを学習する。
21	PART3 Step2・Step2・練習1のⅠは左の漢字が持つ意味を考えて□の漢字一不・未・非・無一の答をa.b.cの意味を考えて選ぶ。Ⅱは□に当てはまる漢字を「不・未・非・無」の中から選ぶ。 Ⅲは□の漢字と下の漢字一□□に当てはまる漢字を選んで言葉の使い方をそれぞれ例文a,b,cに入れて学習する。
22	PART3 練習2 ⅠⅡⅢは□の中の漢字一字(予・好・再・最)が持つ一文字の意味を学習し、a,b,cの意味を理解して組み合わせ、それぞれの1～4の□に当てはまる言葉を学習する。 ◦練習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲはその漢字一文字の全・満・両・共の意味を学習し語彙を増やし会話体の文章を覚える。
23	PART3 Step3は漢字の前後についてことばを作る漢字を学ぶ。練習1は独・失・告・要の漢字一文字が持つ意味を学習し、問題Ⅰ、Ⅱ、Ⅲに当てはまる語彙を学ぶ。 練習2のⅠ、Ⅱ、Ⅲ、の漢字は連・収・有・応の漢字一文字のその意味をⅠのa, b, cから選び学習し、Ⅱの1, 2, 3, 4は□に当てはまる連・収・有・応の漢字一文字を選ぶ。Ⅲは連・収・有・応に続く当てはまる漢字を選び会話体の文章を学習する。
24	「にほんご 漢字トレーニング」PART3 練習3 復習問題□

回数	講義内容
25	PART4 〇同じ読み方の漢字を覚える解説で一文字で同じ読み方を持つ漢字例を覚える。Step1 同じ読み方の漢字の復習で練習1.1～8で□のa,bから正解を選ぶ。 練習2. 1～10の問題で下線部の同じ読み方のひらがなを□の中の漢字から選ぶ。(同音異義語)
26	PART4 Step2 〇同じ読み方を持つ漢字(12問)漢字一文字の意味を考えて ____ に当てはまる漢字の語彙数を増やす。 〇復習問題 I、IIは____に当てはまる漢字一文字を選んで出来た漢字の意味を学習。 〇コラム 日本人の名字で多い名字と漢字を学習。
27	「にほんご 漢字トレーニング」PART4 解説 Step1～復習問題□
28	「にほんご 漢字トレーニング」PART4 解説 Step1～復習問題□
29	「にほんご 漢字トレーニング」PART4 解説 Step1～復習問題□
30	「にほんご 漢字トレーニング」PART4 解説 Step1～復習問題□
31	Part5 実践トレーニング Step1 文章の中の漢字を考える。実践トレーニング Step1 文章の中の漢字を考える。練習1、1～3、練習2、1～8、ヒントの中から漢字を選び読み方も学ぶ。
32	Part5 Step2 身近なものから情報を得る。I 旅行ツアー、II 賃貸マンション、III 食品の販売、IV アルバイト の求人それぞれ広告の内容について学習。

回数	講義内容
33	Part5 Step2 身近なものから情報を得る。V宅配便の不在連絡票、VI携帯電話料金の明細書、VII検定試験の受験案内、VIII検定試験の申し込み用紙、IXアルバイトへの応募、履歴書の書き方や内容を学習。コラムでは 国の名前を1字で書くと・・・、部首リスト・この本で勉強した主な部首、その他の部首を振り返って学習する。
34	「にほんご 漢字トレーニング」PART5 実践トレーニング Step2～練習 VIII～IX□
35	「にほんご 漢字トレーニング」PART5 実践トレーニング Step2～練習 VIII～IX□
36	「にほんご 漢字トレーニング」振り返り□
37	この回から「中級へ行こう・日本語の文型と表現55」のテキストを使用する。テキストの使い方を簡単に説明。第1課ファストフード・扉のページに書いてある「話しましょう」で出身国のファストフードについて簡単に発言を求める。また、ファストフードのいい点、悪い点を書いて、提出。新出単語の「ことば」を読んで練習してから本文のファストフードの文章をCDで聞く(2回)。学生全員で音読後に学生一人ずつ音読。読む力を調べる。
38	第1課:「学習項目」1. N1といえば、N2だの例文①②の使い方を学習。「学習項目の練習」1. の基本練習①②③。応用練習を①②③を学習する。3) 短作文テーマ「代表的な・伝統的な・最も知られている」物/人/場所/祭」を学習項目 1. N1といえば、N2だの例文を使って提出。
39	第1課: 学習項目2. 「も」の例題①②を学習。学習項目の練習 2. も の1)基本練習 2)応用練習で学習し。3)短作文 テーマ:お金の使い方 を書いて提出。
40	第1課: 学習項目の3. 「Nは～こと、～ことだ」の1)基本練習と①コンビニ弁当、②生活習慣病関連の言葉を学習。

回数	講義内容
41	第1課:「学習項目」4。Vマス始める・Vマス終わる 1)基本練習A、B、2)応用練習
42	第1課 チェックシート 1～7、聴解タスクシート・CDを聞いて()にことばを埋める。 作文 テーマ:ファストフード 300字から350字位で提出。
43	第2課 13頁 地震 「話しましょう」で1.あなたの国では地震がありますか。2.あなたは地震にあった あった経験がありますか。を学生に聞く。新出単語の「ことば」を学習してから本文のCDを2回 聞く。ことば言葉、文章の使い方を学習する。学生が順番に読む。
44	第2課:「ことばの練習A:とB:」を練習し、QA1, 2, 3の問題を学生が答える。
45	第2課 学習項目の1, ~のでしょうかの例文①、②、を学習し、学習項目の練習1, ~のしょう か 1)基本練習①②③④⑤を学習し、短作文テーマ「日本について不思議だと思うこと」を4行 以内に書いて提出。
46	第2課:学習項目の2「自動詞・他動詞」の整理の例文①②の例題を学習し、学習項目の練習 2「自動詞・他動詞」の整理で1)基本練習、2)基本練習を学習する。
47	第2課学習項目の3. V(よう)としても、Vナイない①②を学習し学習項目の3で基本練習①② ③です。22頁のチェックシートで文の言葉を2択から選び、23頁の聴解タスクシートで()に 入れることば学習する。作文1. いつしますかテーマ「地震」で6行以内で作文を書く。
48	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第2課地震□

回数	講義内容
49	<p>第3課「最近の子ども」話しましょう1. あなたは子どもの時、何が欲しかったですか。2親はあなたが欲しい物をすぐかってくれましたか。3. 今の子どもはどんな物を持っていますか。を学生に問う。新出単語ことばを学生とともに読み、数人の学生にも読ませる。また、テーマ「最近の子ども」のCDを聞いてから学生と共に読んでから、数人の学生が読む。ことばの練習A・B・□の中の言葉を1, 2, 3, 4の()に入れる。QA1. 2.を学生に問う</p>
50	<p>第3課 学習項目 1. V (普通形) ようなNの例題①②を学習し、学習項目の練習1.V (普通形) ようなN 1) 基本練習①②③④で練習する。2. Nばかり・Vばかりいる学習項目の練習2. Nばかり・Vばかりいる 3. Nを欲しがるとVマスたがる・Vマスたがらない</p>
51	<p>第3課 学習項目4. ついVてしまう。1)基本練習 見る・続ける・飲みすぎるの動詞を①②③の空欄を埋める。 2)短作文テーマ:ついでにやってしまうことを150字以内で</p>
52	<p>第3課 学習項目 5. ~(の)は~からだ 「~からだ」で「~(の)は」の理由を言う。学習項目の練習 5. ~(の)は~からだ 1)基本2)短作文練習 150字以内 テーマ[住んでいるいる所・かよっている学校 等・・・]</p>
53	<p>第3課 6. Nのようだ・Nのように(V/A/Na)・N1 のようなN2 1) 基本練習 ~ て/くて、Nのようです 2) 基本練習 3) 基本練習 山 紅葉 りんご 鬼 棒を空欄に入れる 4) 短作文 ~のようだ を使って 授業内に提出</p>
54	<p>「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第3課最近の子ども□</p>
55	<p>第4課 日本のイメージ 話しましょう で、学生に発言を求め。ことばで新出単語を学び、本文のCDを聞いて、全員で読んでから、学生数人が読む。ことばの練習A、Bでカッコ内のことばを選ぶ。 本文についてのQA3題で学生に発言を求め。</p>
56	<p>第4課 学習項目1.の例文二つと学習項目の練習の1. Vていく・Vてきた) の 1) 基本練習4問と、2) 基本練習の4問の動詞の変化を学ぶ。</p>

回数	
57	<p>第4課 学習項目2.【表/グラフ】で見ると、～ことがわかるので①②を学習し学習項目の練習の2.【表/グラフ】で見ると、～ことがわかる1)応用練習[表]日本で買って満足した物を見て、下線のことばを選ぶ。 [グラフ]:外国人が日本でしたことばのグラフを見ながら下線部にふさわしい言葉を選ぶ。</p>
58	<p>第4課 学習項目の3. N1のようなN2 で2つの文例を学習し学習項目の練習3. で1)基本練習の問題4例を学び、学習項目の練習4. XはYほど～ない の1)基本練習でまなんだことを参考に「して 2)の短作文 テーマ:子どもの時と今 を150字以内で書く。</p>
59	<p>第4課 学習項目5.「比較」の整理を学び、学習項目の練習5.「比較」の整理 の1)基本練習5例で比較の言葉どちら、どれ、だれ、何の言葉の使い方を学習する。</p>
60	<p>第4課 学習項目の練習の2)応用練習は表を見て文章の空欄①、②に言葉を入れる。 ・チェックシートの問題9例は文中の言葉を2択から選ぶ。・聴解タスクシートはCDを聞いて文章の空欄に言葉を書く。作文のテーマ:私の国でああなたの国はどんな所ですか。は設問①から⑥に答えて例の作文を一読してから、文章の始めを「私の国のいいところは～」で書き始め、350字位にまとめて作文を提出する。</p>
61	<p>第5課 睡眠 話しましょう1.から4.の設問に当てはまる時間、状況の中の言葉の口をチェックしてから、学生に答えてもらう。を・新出単語のことばを全員で読む。本文の睡眠のCDを聴解してから、全員で声を出して読んだ後、学生数人が順番に読む。ことばの練習A:B:の空欄に口の中の4つことばから選んで答えてもらう。QAの3つの質問に学生が答える。</p>
62	<p>第5課 学習項目1. A/Naさ 形容詞を名詞化して使う。イ形容詞はさ、ナ形容詞はさに変換 ・学習項目の練習1. い形容詞/な形容詞の応用練習で形容詞を名詞化した問(広さ・明るさ静かさ・便利さ・暮らしやすさ・環境の良さ)の答えをグラフの%で表す。2)短作文 テーマ:今住んでいる部屋を100文字前後で書いて提出。</p>
63	<p>第5課 学習項目の2. 連用中止で動詞文や形容詞文の接続のしかたを学ぶ。並列や理由を表す。 ・学習項目の練習 2. 連用中止 1)基本練習 例1、例2で学び①から⑤で練習する。2)短作文のテーマ:自動販売機の使い方/料理の作り方/ATMの使い方/などからテーマを選んで100字から150字で書いて提出。</p>
64	<p>第5課 学習項目 6. 長い文の練習で3例を学び、学習項目の練習 6. 長い文の練習で1)基本練習A——名詞、B ～たり、～たりして、…人が多くなっています。C～ことや、～が原因で、～(連用中止)、体の不調を訴える人が増えています。</p>

回数	講義内容
65	第5課 チェックシートの1から10まで二択の文章の練習。／聴解タスクシートのCD9.10 睡眠を聴いて文章の空欄にことばを書く。／作文1. 友達に睡眠について聞きましょう。1) 毎晩何時ごろ寝ていますか。2) 平日の睡眠時間はどのくらいですか。3) 何時間ぐらい寝たいですか。4) 寝られない時がない・・・()人ある・・・()人 5) 寝られない時、どんなことをしていますか。 2. 書きましょう
66	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第5課睡眠□
67	第6課 学習項目 1.Nによって[受身]1)基本練習 ①②③④⑤で学習。 2)基本練習 例をみながら①②③④⑤で学習。
68	第6課 69頁のことばの練習でA,Bの□に囲まれたことば3つを1.2.3.のそれぞれ空欄に書く。QAの1, 2, 3の質問を学生が答える。
69	第6課 学習項目の2. ～ため(に) 原因/理由を表す ①②で学習。学習項目の練習の 2. ～ため(に)1)基本練習①②③④、2. 応用練習①②③で空欄を埋めて学習。 3)短作文 テーマ・後悔していること/困っていること/残念なことを200文字位で。
70	第6課 学習項目3. 「～ため(に)」の整理[原因/理由・目的]①[原因・理由・]② [目的]の文で学習。 学習項目の練習 3. 「～ため(に)」の整理[原因/理由・目的]1)基本練習 例1.2.を見ながら①②③④⑤のことばを()に入れる。2)応用練習①②にふさわしい言葉を書く。
71	第6課 日本人の発明 話しましょう。 1カラオケが～ 2.あなたの国で～ をテーマに学生に発言を求める。 新出単語のことばを学生と共に読む。 本文のCDを聞いてから、学生数人が読む。
72	第6課 学習項目 4. ～まま 同じ状態がかわらずに続くことを表す。①②③の文例で学ぶ。 学習項目の練習4. ～まま 1)基本練習 イラストを見て①②③④のことばに続く文章を書く。 2)短作文 テーマ:失敗したことを例:を参考に300文字くらいの文章にする。

回数	講義内容
73	<p>第6課 チェックシートの二択問題10で学習する。聴解タスクシートを聞いて、()にことばを書く。</p> <p>作文 を1. 書く前に口に囲まれた文章の()①②③④で提示されたことばを文章にふさわしい言葉を書く。</p> <p>2. 書きましょう(200文字くらいで。) テーマ:私の国で発明された物</p>
74	<p>第7課 リサイクルとフリーマーケット 話しましょう 1.フリーマーケットを知っていますか。2.フリーマーケットを利用したことがありますか。を学生にたずねて答えてもらう。</p> <p>81頁の新出単語のことばをを学生と共に読み、覚える様に指導する。</p> <p>本文「リサイクルとフリーマーケット」をCDで聞いて、学生と声を出して読む。</p> <p>ことばの練習でA:B:各4問の文章の()に口の中からことばを選んで書く。</p> <p>QAの1~4の質問に学生が答える。</p>
75	<p>第7課 学習項目 1Vタものだ ①②の例文で学習、学習項目の練習1.Vタものだ 1)基本練習</p> <p>例:昔はよく川で泳ぎました。→昔はよく川で泳いだものだ。を参考に①②③④を答える。</p> <p>学習項目2.~として①②の例文で学習、学習項目の練習 2. ~として例:の文を参考に①②③④⑤で練習。</p> <p>2)応用練習例:を参考に①②の文を書く。</p>
76	<p>第7課 学習項目3.~といっても ①②の文で学び、学習項目の練習3. 1)基本練習で①②③④⑤で練習し、2)応用練習①②の空欄にことばを書く。</p> <p>学習項目4. V1よりV2ほうが~ ①②で学習。学習項目4. 1)基本練習 例を参考にして150字以内で文を作る。</p>
77	<p>第7課 学習項目5. ~なら ①②例文で学び、学習項目5. ~なら 1)基本練習の例文を参考に①②③④⑤の言葉で文章にする。</p> <p>2)応用練習の例文で①②③の線上_____にふさわしい言葉を入れる。</p> <p>学習項目6. 「なら・と・ば・たら」の整理 例文:を参考に①②③④のA,Bの会話でふさわしい言葉を選び整理する。2)基本練習 例:を参考に①②③④⑤で練習。</p>
78	<p>第7課 学習項目7. Vテ欲しい・Vナイないで欲しい ①②の例文で学習。 学習項目の練習</p> <p>7. Vテ欲しい・Vナイないで欲しい 1) 基本練習 1) 基本練習で例: の会話体①②③④を参考に①②③④の会話の順番を学習する。</p>
79	<p>第7課 チェックシートの 1. ~9. の文中の2択の言葉を選ぶ。</p> <p>聴解タスクシート リサイクルとフリーマーケットのCDを聴いて文中()にことばを書く。</p> <p>作文 1. リサイクルについて考えましょう。(a) がされると(b)の何になりますか。を線で結ぶ。</p> <p>(a)①②③と(b)の何(ア. イ. ウ. エ)になりますか。 2. 書きましょう テーマ:リサイクルで(150字~180字)</p>
80	<p>「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第8課あいづち□</p>

回数	講義内容
81	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第8課あいづち□
82	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第8課あいづち□
83	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第8課あいづち□
84	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第8課あいづち□
85	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第8課あいづち□
86	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第9課男の仕事・女の仕事□
87	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第9課男の仕事・女の仕事□
88	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第9課男の仕事・女の仕事□

回数	講義内容
89	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第9課男の仕事・女の仕事□
89	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第9課男の仕事・女の仕事□
90	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第9課男の仕事・女の仕事□
91	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第10課ことばの使い方□
92	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第10課ことばの使い方□
93	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第10課ことばの使い方□
94	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第10課ことばの使い方□
95	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第10課ことばの使い方□
96	「中級へ行こう 日本語の文型と表現55」第6課～第10課振り返り

30	『下敷の日記』 日本語の先生に依頼して「第9課」第10課派の送
----	---------------------------------

令和8年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	国際ITビジネス科			教科名	情報処理演習	
コース名	国際ITビジネスコース			担当者	安齋	
学 年	1年			教科番号	1110	単位数 4.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・ 実技	必修・選択の別	選択	
		○				
授業概要	日本語表示のパソコンを用い、Webページ制作の基礎知識を学習する。HTML・CSS・JavaScriptを用いた実践的な演習を通して、自ら情報を発信する技術を学修する。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本語のコンピュータ用語を理解し、その意味を説明できる。 ・ HTMLとCSSの基本知識を習得し、目的に応じたWebページを制作できる。 ・ JavaScriptを用いてWebページに動きを持たせることができる。 					
教材名	プリント配布					
資格の 取得目標	特になし					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性						
履修に あたっての 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各授業後、配布資料を確認し復習を行うこと。 ・ 授業は演習中心のため、積極的に取り組むこと。 ・ 不明点はそのままにせず、都度確認すること。 ・ AI等のツールを使用する場合は、そのまま提出せず内容を理解した上で活用すること。 					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割合	0%	40%	20%	40%	0%	100%

回数	講義内容
1	PC基礎① 授業概要と開発環境の設定 ・オリエンテーション ・PCの基本操作(電源、マウス、キーボード) ・開発環境(ブラウザ・エディタ)の準備
2	PC基礎② Webの基礎理解とタイピング ・インターネットとWebの仕組み(サーバ・ブラウザ) ・Webサイト制作の全体像 ・日本語キーボード入力の練習
3	HTML基礎 ・基本タグの理解(html/head/bodyなど) ・見出し・段落・画像タグの使い方 ・簡単なWebページの作成
4	CSS基礎 ・HTMLとCSSの関係 ・セレクタと基本プロパティ(色・文字サイズ) ・margin/paddingの設定
5	自己紹介ページ作成① ・カード形式による情報の整理 ・width/height/box-shadowなどの設定 ・画像とテキストの配置
6	自己紹介ページ作成② ・プロフィール情報の追加 ・リスト要素(ul / ol / li)による情報の整理 ・ページ全体のレイアウト調整
7	課題演習 (提出課題①) ・好きな有名人の紹介ページを作成 ・今まで授業内で学修した知識・技術を使用
8	課題演習 (提出課題①) ・課題の作成 ・ソースコードを提出

回数	講義内容
9	複数ページの連携 ・a要素によるページ遷移 ・nav要素、リスト要素によるheaderの作成 ・CSSの外部ファイル化によるデザインの統一
10	Flexboxによる横並びレイアウト ・display:flexの基本 ・justify-contentとalign-items ・横並びレイアウトの作成
11	iframeによる情報の追加 ・YouTube動画の埋め込み ・Google Mapsの埋め込み
12	CSSによるアニメーションの基本 ・transitionの使い方 ・hoverによる変化 ・transform(移動・拡大)
13	全体のUI調整 ・カードやボタンへのhover演出の追加 ・余白、色、画像サイズの調整 ・機能の動作確認
14	課題演習（提出課題②） ・テーマの設定 ・ページ設計(レイアウト・内容) ・素材の準備
15	課題演習（提出課題②） ・Flexboxやアニメーションの活用 ・ページ作成の実装 ・デザインの調整
16	課題演習（提出課題②） ・最終調整と動作確認 ・コードの整理 ・ソースコードを提出

回数	講義内容
17	JavaScript基礎 ・開発ツールの基本的な使い方 ・四則演算 ・変数の定義(const / let)
18	オブジェクトの理解 ・オブジェクトとは ・プロパティ(キーと値) ・オブジェクトの作成
19	DOMの取得と操作① ・DOMとは ・getElementByIdとquerySelectorの使い方 ・取得した要素の確認方法
20	DOMの取得と操作② ・HTML要素の取得練習 ・textContentの書き換え
21	イベント処理① ・関数の基本 ・作成した関数をコンソールから実行 ・関数によるオブジェクトの操作
22	イベント処理② ・関数を用いたオブジェクトの操作 ・クリックによるイベント処理の基本 ・カウントアップボタンやLikeボタンの実装
23	課題演習 (提出課題③) ・前期で作成したページに動きを追加 ・DOM操作とイベント処理を活用 ・インタラクティブなページの作成
24	課題演習 (提出課題③) ・課題作成 ・コードの整理と見直し ・ソースコードを提出

回数	講義内容
25	状態の理解 <ul style="list-style-type: none"> ・状態とは ・状態の定義 ・状態に応じた画面表示
26	表示を切り替えるボタンの作成 <ul style="list-style-type: none"> ・ボタンクリックによる状態の変更 ・トグルボタンの仕組みを理解 ・状態に応じた画面の切り替え
27	配列の基礎とランダム表示 <ul style="list-style-type: none"> ・配列の基礎 ・配列からアイテムを取り出す方法 ・配列のアイテムをランダムに表示する機能の実装
28	ギャラリー機能① <ul style="list-style-type: none"> ・配列を用いた画像データの管理 ・画面上に画像を表示する枠を作成 ・クリックに応じて画像を切り替える機能の実装
29	ギャラリー機能② <ul style="list-style-type: none"> ・順番またはランダムによる画像の切り替え ・説明文や見た目の調整 ・ギャラリー機能全体の完成度の向上
30	最終課題演習（提出課題④） <ul style="list-style-type: none"> ・テーマの決定(これまでに作成した自分のWebサイトを改良) ・追加する機能や表現を整理する ・作成を開始する
31	最終課題演習（提出課題④） <ul style="list-style-type: none"> ・各自のテーマに沿って機能追加を行う ・デザインおよびUIの改善を行う ・動作確認および調整を行う
32	最終課題演習（提出課題④） <ul style="list-style-type: none"> ・最終調整を行う ・コードの整理および見直しを行う ・ソースコードを提出する

令和 8 年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	国際ITビジネス科			教科名	キャリアデザイン	
コース名	国際ITビジネスコース			担当者	戸川（1組）小池（2組）	
学 年	1年			教科番号	1111	単位数 16.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
	○					
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の文化を理解し生活するための知識を学習する。 ・進学、就職（技・人・国、特定技能等）を目指し、日本語コミュニケーション力、相手に伝える表現力を学習する。 ・日本で就労するための条件や能力、業種や職種などについて学習する。 ・履歴書や自己アピール文の作成のため、文章の作り方を学習する。 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを日本語ではっきりと相手に伝えることができる。 ・日本人学生とコミュニケーションをとることで相手の話すことを理解し、相手に伝える日本語力が身に付けることができる。 ・日本で生活するために必要な知識（法律や規則など）を身に付けることができる。 ・自己アピール文を書くための知識を身に付けることができる。 ・日本で就職するための知識や技術を身に付けることができる。 					
教材名	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなの日本語 初級Ⅰ 漢字練習帳（1組） ・みんなの日本語 初級Ⅱ 漢字練習帳（2組） ・プリント配布 					
資格の 取得目標	なし					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性						
履修に あたっての 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・留学生は出席率を重視するので授業を欠席しないこと。 ・携帯電話等、授業に関係のないものはバックにしまう。 但し、申請等で必要な時は携帯電話を使用する。 ・イヤホン、ヘッドホンは外す。 ・わからないことは日本語で質問する ・教室内では日本語でコミュニケーションをとること。 ・期末試験は漢字練習帳から出題するので漢字の読み書きを復習すること。 					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割合	0%	30%	30%	40%	0%	100%

回数	講義内容
1	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション(生活編)(1) 7月JLPTの申込 入管へのオンライン申請について 活動機関の離脱や移籍処理 校舎内の案内
2	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション(生活編)(2) 8月JLPTの申込 入管へのオンライン申請について 活動機関の離脱や移籍処理 校舎内の案内
3	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション(生活編)(3) 7月JLPTの申込 入管へのオンライン申請について 活動機関の離脱や移籍処理 クラス委員について
4	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション(生活編)(4) 調査書の作成 在留期間更新手続きについて その他、個別対応、個別相談 グループLINE、Teamsのインストール
5	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション(生活編)(5) 調査書の作成 在留期間更新手続きについて その他、個別対応、個別相談 グループLINE、Teamsのインストール
6	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション(生活編)(6) 調査書の作成 在留期間更新手続きについて その他、個別対応、個別相談
7	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション(生活編)(7) 調査書の作成 在留期間更新手続きについて その他、個別対応、個別相談
8	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション(生活編)(8) 調査書の作成 在留期間更新手続きについて その他、個別対応、個別相談

回数	講義内容
9	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の手引き(1) 自己紹介文の作成 アイスブレイク(クラス交流) 漢字練習帳
10	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の手引き(2) 自己紹介文の作成 アイスブレイク(クラス交流) 漢字練習帳
11	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の手引き(3) 自己紹介文の作成 アイスブレイク(クラス交流) 熊谷市内散策
12	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の手引き(4) 自己紹介文の発表 アイスブレイク(クラス交流) 漢字練習帳
13	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の手引き(5) 自己紹介文の発表 アイスブレイク(クラス交流) 健康診断について
14	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の手引き(6) 自己紹介文の発表 アイスブレイク(クラス交流) 暑中見舞いはがきの作成
15	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の手引き(7) アイスブレイク(クラス交流) 暑中見舞いはがきの作成
16	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の手引き(8) アイスブレイク(クラス交流) 楠祭について

回数	講義内容
17	<ul style="list-style-type: none"> ・市政宅配講座(予定) 熊谷市公聴広報課 日本文化体験について
18	<ul style="list-style-type: none"> ・市政宅配講座(予定) 熊谷市公聴広報課 税金について(学生年金特定措置の申し込み)
19	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み前の進学指導 内部進学について その他の進学について 特定技能について
20	<ul style="list-style-type: none"> ・JLPT対策(1) 漢字練習帳 文法、語彙、単語、読解 自主学習
21	<ul style="list-style-type: none"> ・JLPT対策(2) 漢字練習帳 文法、語彙、単語、読解 自主学習
22	<ul style="list-style-type: none"> ・JLPT対策(3) 漢字練習帳 文法、語彙、単語、読解 自主学習
23	<ul style="list-style-type: none"> ・JLPT対策(4) 漢字練習帳 文法、語彙、単語、読解 自主学習
24	<ul style="list-style-type: none"> ・JLPT対策(5) 漢字練習帳 文法、語彙、単語、読解 自主学習

回数	講義内容
25	<ul style="list-style-type: none"> ・楠祭の企画(1) 楠祭の準備 資料作成
26	<ul style="list-style-type: none"> ・楠祭の企画(2) 楠祭の準備 資料作成
27	<ul style="list-style-type: none"> ・楠祭の企画(3) 楠祭の準備 資料作成
28	<ul style="list-style-type: none"> ・楠祭の企画(4) 楠祭の準備 資料作成
29	<ul style="list-style-type: none"> ・楠祭の企画(5) 楠祭の準備 資料作成
30	<ul style="list-style-type: none"> ・楠祭の企画(6) 楠祭の準備 資料作成
31	<ul style="list-style-type: none"> ・楠祭の企画(7) 楠祭の準備 資料作成
32	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み前の進学指導 内部進学について スピーチコンテストの代表決め

回数	講義内容
33	<ul style="list-style-type: none"> ・後期に向けて(1) 12月JLPTの申し込み指導 成績について スピーチコンテストのテーマ決め
34	<ul style="list-style-type: none"> ・後期に向けて(2) 12月JLPTの申し込み指導 成績について スピーチコンテストのテーマ決め
35	<ul style="list-style-type: none"> ・後期に向けて(3) 進学指導、就職指導(特定技能、技術・人文、国際) 個別ガイダンス アイスブレイク
36	<ul style="list-style-type: none"> ・後期に向けて(4) 進学指導、就職指導(特定技能、技術・人文、国際) 個別ガイダンス アイスブレイク
37	<ul style="list-style-type: none"> ・後期に向けて(5) 進学指導、就職指導(特定技能、技術・人文、国際) 個別ガイダンス アイスブレイク
38	<ul style="list-style-type: none"> ・後期に向けて(6) 進学指導、就職指導(特定技能、技術・人文、国際) 個別ガイダンス アイスブレイク
39	<ul style="list-style-type: none"> ・後期に向けて(7) 進学指導、就職指導(特定技能、技術・人文、国際) 個別ガイダンス アイスブレイク
40	<ul style="list-style-type: none"> ・後期に向けて(8) 進学指導、就職指導(特定技能、技術・人文、国際) 個別ガイダンス アイスブレイク

回数	講義内容
41	<ul style="list-style-type: none"> ・後期に向けて(9) 進学指導 個別ガイダンス JLPT対対策 漢字練習帳
42	<ul style="list-style-type: none"> ・後期に向けて(10) 進学指導 個別ガイダンス JLPT対対策 漢字練習帳
43	<ul style="list-style-type: none"> ・後期に向けて(11) 進学指導 個別ガイダンス JLPT対対策 漢字練習帳
44	<ul style="list-style-type: none"> ・後期に向けて(12) 進学指導 個別ガイダンス JLPT対対策 漢字練習帳
45	<ul style="list-style-type: none"> ・後期に向けて(13) 進学指導 個別ガイダンス JLPT対対策 漢字練習帳
46	<ul style="list-style-type: none"> ・後期に向けて(14) 進学指導 個別ガイダンス JLPT対対策 漢字練習帳
47	<ul style="list-style-type: none"> ・後期に向けて(15) 進学指導 個別ガイダンス JLPT対対策 漢字練習帳
48	<ul style="list-style-type: none"> ・後期に向けて(16) 進学指導 個別ガイダンス JLPT対対策 漢字練習帳

回数	講義内容
49	<ul style="list-style-type: none"> ・進学指導 ・JLPT対策 ・個人ガイダンス
50	<ul style="list-style-type: none"> ・進学指導 ・JLPT対策 ・個人ガイダンス
51	<ul style="list-style-type: none"> ・進学指導 ・JLPT対策 ・個人ガイダンス
52	<ul style="list-style-type: none"> ・進学指導 ・JLPT対策 ・個人ガイダンス
53	<ul style="list-style-type: none"> ・進学指導 ・JLPT対策 ・個人ガイダンス
54	<ul style="list-style-type: none"> ・進学指導 ・JLPT対策 ・個人ガイダンス
55	<ul style="list-style-type: none"> ・進学指導 ・JLPT対策 ・個人ガイダンス
56	<ul style="list-style-type: none"> ・進学指導 ・JLPT対策 ・個人ガイダンス

回数	講義内容
57	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業に向けての指導(1) 進路指導(大学、専門学校など) 特定技能指導 面接指導 個別ガイダンス
58	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業に向けての指導(2) 進路指導(大学、専門学校など) 特定技能指導 面接指導 個別ガイダンス
59	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業に向けての指導(3) 進路指導(大学、専門学校など) 特定技能指導 面接指導 個別ガイダンス
60	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業に向けての指導(4) 進路指導(大学、専門学校など) 特定技能指導 面接指導 個別ガイダンス
61	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業に向けての指導(5) 進路指導(大学、専門学校など) 特定技能指導 面接指導 個別ガイダンス
62	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業に向けての指導(6) 進路指導(大学、専門学校など) 特定技能指導 面接指導 個別ガイダンス
63	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業に向けての指導(7) 進路指導(大学、専門学校など) 特定技能指導 面接指導 個別ガイダンス
64	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業に向けての指導(8) 進路指導(大学、専門学校など) 特定技能指導 面接指導 個別ガイダンス